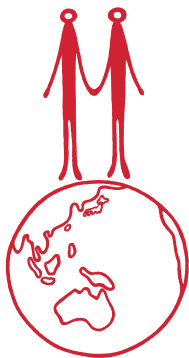


株主の皆様へ

trans
cosmos
people & technology

トランスコスモス株式会社



Your Global IT Partner.

あなたの、グローバルITパートナーを目指して。

第24期 中間期株主通信

2008年4月1日から2008年9月30日まで

本資料に含まれる将来の予測に関する記載は、2008年11月11日（当社2009年3月期第2四半期決算発表）時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本経済、株式市場の動向や情報サービス業界の動向、新たなサービスや技術の進展により変動することがあります。従って当社として、その確実性を保証するものではありません。

コーポレートビジョン

お客様の満足の大きさが
我々の存在価値の大きさであり、
ひとりひとりの成長がその大きさと未来を創る。

お客様企業へのコミットメント

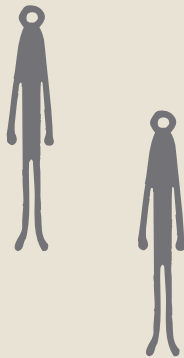
常に世の中の技術動向を把握し、人と技術の融合により
付加価値と品質の高いサービスを継続的に提供する。
お客様に信頼される真のパートナーシップを構築する。

社員へのコミットメント

社員は無限の可能性を秘めた最大の資産であり、
個人の成長に必要な教育支援を惜しまない。
機会は公平に与え、実績と能力によって適正な報酬と
新たな成長の機会を提供する。

社会・株主へのコミットメント

グループの成長により株主価値を高めるとともに、
社会の進歩に貢献する。



ごあいさつ

株主の皆様には平素格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社2009年3月期中間期（第2四半期累計期間：2008年4月1日から2008年9月30日まで）の事業および業績についてご報告申し上げます。

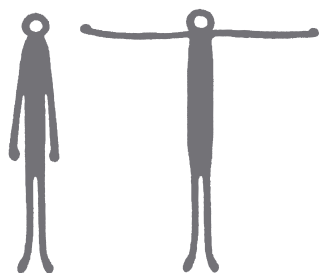
当社は、『デジタルマーケティングサービス』、『コールセンターサービス』、『ビジネスプロセスアウトソーシングサービス』、『ビジネスプロセスソリューションサービス』等を当社グループ企業と有機的に結びつけることにより、お客様企業のマーケティング活動の最適化および効率化、売上の拡大、新規顧客の獲得、並びに顧客満足度向上の実現などに取り組んでおります。また、これらのサービスは国内のみならず、中国・韓国を中心としたアジア地域や北米などの海外でも国内と同等の品質と技術を提供しております。その他、3D仮想空間「meet-me」をはじめとしたBtoCメディアサービス事業、常に国内外の最新テクノロジーをサービスメニューに取り込みサービス競争力向上をはかる等、戦略的な投資を含めた事業開発投資（コーポレートベンチャーキャピタル事業）を展開しております。

当中間期の連結売上高は83,655百万円と、前年同期比6.4%の増収となりました。しかしながら連結営業利益は、コーポレートベンチャーキャピタル事業において、株

式市場の低迷に伴い保有株式の売却が大幅に減少したことなどにより、487百万円と、前年同期比62.7%の減益となりました。また、連結中間純損益については、1,066百万円の損失となりました。株主の皆様には多大なご心配をおかけしますが、この結果を踏まえ、全社一丸となってより一層の業績回復に取り組んでまいり所存でございます。

2009年3月期の配当金につきましては、現時点では期初の計画どおり中間配当は実施せず、当期末1株20円(年間20円)とさせていただく予定ですが、当社の今後の財務状況および業績見通しを総合的に勘案して決定させていただきます。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

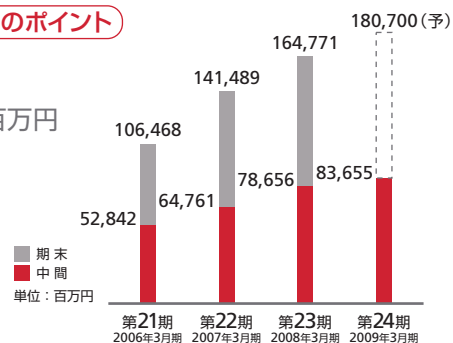


トランスコスモス株式会社
代表取締役社長兼COO

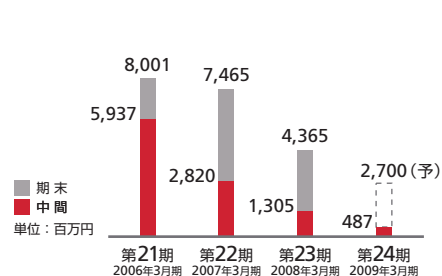
奥田昌孝

連結中間決算のポイント

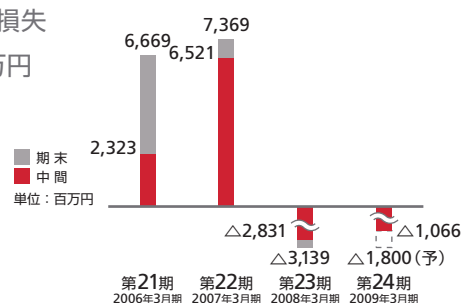
売上高
83,655百万円



営業利益
487百万円



中間(当期)純損失
1,066百万円



■ 連結中間決算のポイント

【売上高】

主力のコールセンターサービスを中心に情報サービス事業が比較的堅調に推移し、前年同期比6.4%の増収となりました。

【営業利益】

今後の成長に向けた人材・設備への先行投資、事業規模・売上拡大に伴う管理費用などの増加、また株式市場の低迷に伴う売却益の減少や所有株式の減損処理などにより、前年同期比では62.7%の減益となったものの、BtoB、BtoC系子会社の業績は順調に伸張しています。

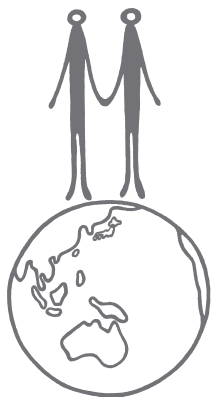
【中間(当期)純損益】

1,066百万円の損失となったものの、税金費用が大幅に減少したため、前年同期と比較し、損失額は1,764百万円の減少となりました。

Your Global IT Partner.

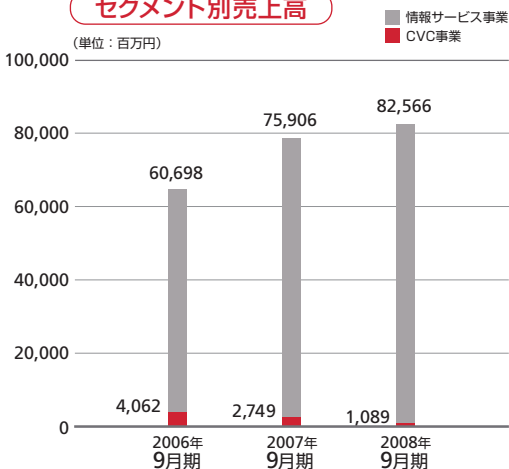
グローバル＝コストパフォーマンス×きめ細やかさ。これがトランスコスモスのITパートナー方程式です。

規制緩和、個人情報保護法やCSRの登場。そしてグローバルな競争…。ベストなITサービスが、経営クオリティを決める時代が到来しています。世界市場から最高の技術と最もコストパフォーマンスの高い人材を、日本ならではの、きめ細かくカスタマイズされたITサービスに統合する。これがトランスコスモスの提供するバリューです。



セグメント別売上高

(単位：百万円)



情報サービス事業

DM Digital Marketing



デジタルマーケティング

デジタルマーケティングは、インターネットをベースに企業のプロモーションやセールス活動などのマーケティング活動全般を支援するサービスです。

情報サービス事業

CC Call Center



コールセンター

消費者の“生の声”をキャッチする。それはコールセンターの重要な機能です。私たちは、汲み上げた声をさらに新しいサービスに活かし、付加価値を創出しています。

BPO

Business
Process Outsourcing



ビジネスプロセスアウトソーシング

企業のシステム導入からサポート、教育、開発、定着まで、ワンストップで迅速に対応しています。

中国

Offshore
System Developing



中国オフショア開発

上流設計から保守まで一括受託。
高品質かつ圧倒的なコストパフォーマンスとスピードを提供しています。

事業開発

Investments &
Business Development



事業開発投資

世界の技術動向をみつけ、高付加価値かつ競争力あるBtoB事業とBtoC事業を積極的に開発しています。

BPS

Business Process Solution



ビジネスプロセスソリューション

大量の顧客データを、素早く、確実に、高いコストパフォーマンスで一括処理。
個人情報保護と内部統制の時代に、なくてはならないアプリケーションサービスを提供しています。

海外

Overseas Business

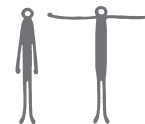


海外事業

多彩なサービスを日本国内と同じ品質でグローバルに展開。企業のビジネスを地球規模で支援しています。

BtoC

B to C
Media Service



BtoCメディアサービス

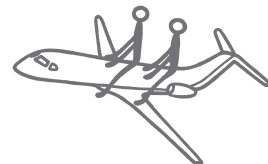
常に消費者の動向をキャッチできるように時流に乗ったインターネットメディアの開発・運営を行っています。

コンテンツ販売を核としたライセンスビジネスに参入

テレビ東京系6局にて4月6日(日) 8時30分から放送開始の新作アニメーション『ネットゴースト PIPOPA』に製作出資し、同番組のコンテンツ販売によるライセンスビジネスに参入。



©2008 ネットゴースト PIPOPA
製作委員会・テレビ東京



フィリピンのコールセンター企業と資本提携

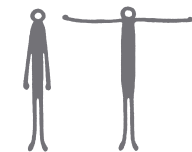
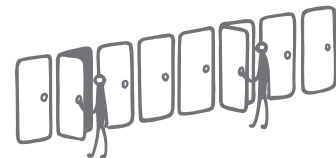
フィリピンのマニラに拠点を置くコールセンター企業Logicall Inc.の株式を51%取得し、英語対応のコールセンター事業へ本格参入。

ザッパラスと新たなモバイルコンテンツビジネスモデル共同開発へ

ザッパラス傘下の株式会社アレス・アンド・マーケティングをトランスコスモスグループ傘下に。モバイル事業の一部を同社に移管・統合し、同社を中心に3社共同で詳細な顧客属性やコンテンツ購読履歴に基づく新しいアルゴリズムの行動ターゲティングエンジンの共同開発等を行っていく。

メディア分析型リスティング運用サービス提供を開始

自社開発した運用支援システムでインターネット上の必要な情報をいち早く収集・分析しダイレクトに検索連動型広告の運用に反映するサービスの提供を開始。



08

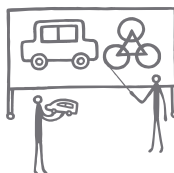
4月

5月

6月

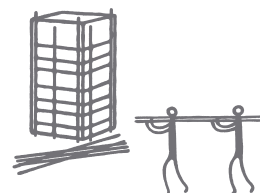
フジテレビと共同で新番組『近未来予報 ツギクル』を制作

『ツギクル』はインターネット上の情報構造を解析して、近い将来に流行るものを予報する番組。インターネットとテレビを結ぶ新しいタイプのテレビ番組として、4月17日(木)27時10分よりフジテレビにて放送を開始。



熊本市に「BPO熊本テクニカルセンター」を新設

国内2拠点目となる複合型コーポレートビジネスアウトソーシング拠点を新設。企業向けシステム運用・保守、開発・設計、ヘルプデスクなどの情報サービス関連、総務、経理、購買、受発注などのコーポレートビジネス関連など様々なサービスを提供していく。



**沖縄のコールセンター事業
グループ企業が「沖縄県産業・
雇用拡大県民運動推進功労者表彰
(グッジョブ表彰)」を受賞**

沖縄でコールセンター事業を展開する子会社トランスコスモス シー・アール・エム沖縄は、沖縄県が主催する「沖縄県産業・雇用拡大県民運動推進功労者表彰(グッジョブ表彰)」を受賞。



**社団法人企業情報化協会主催
「Best Customer Support of The Year 2008」
において「顧客満足向上賞」を受賞**

日産自動車株式会社の販売会社様向けサポートとして受託している業務で受賞。基幹システムのヘルプデスクサービスで回答時間短縮・エスカレーション削減・放棄率改善等を実現。



**トランスコスモス編集協力、
書籍『実践! 最新デジタル・
マーケティング』発売**

宣伝会議より刊行。Webサイトをリニューアルしたい、検索エンジン対策(SEO)で上位表示させたい、モバイルメルマガの配信で集客につなげたい、などの課題解決に役立つソリューションや成功事例を詳説。

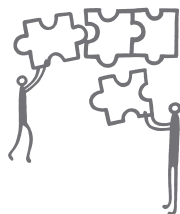


7月

8月

9月

09



**有明に
「BPO有明テクニカルセンター」
を拡張リニューアル**

旧有明センターを改装してITマネジメントや受発注業務なども含めたトータルなビジネスサポートが提供できるセンターに拡張。シート数・スタッフの増加、レイアウト・人員配置の変更、セキュリティ・インフラの増強などを実施。



連結財務諸表

中間連結貸借対照表

【ご参考】 (単位:千円)

科目	当中間連結会計期間末 2008年9月30日現在	前連結会計年度末 2008年3月31日現在
■資産の部		
流動資産	56,045,633	58,755,859
固定資産	38,818,066	38,343,011
有形固定資産	12,890,448	13,108,803
無形固定資産	8,153,330	7,361,097
投資その他の資産	17,774,287	17,873,110
資産合計	94,863,699	97,098,870
■負債の部		
流動負債	28,681,308	32,148,129
固定負債	23,381,368	15,189,842
負債合計	52,062,677	47,337,972
■純資産の部		
株主資本	33,112,392	37,939,010
資本金	29,065,968	29,065,968
資本剰余金	23,009,730	23,057,566
利益剰余金	785,980	3,649,849
自己株式	△19,749,286	△17,834,374
評価・換算差額等	3,515,011	5,019,802
新株予約権	300	—
少数株主持分	6,173,318	6,802,085
純資産合計	42,801,022	49,760,898
負債・純資産合計	94,863,699	97,098,870

中間連結損益計算書

【ご参考】 (単位:千円)

科目	当中間連結会計期間 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	前中間連結会計期間 2007年4月1日から 2007年9月30日まで	前連結会計年度 2007年4月1日から 2008年3月31日まで
売上高	83,655,705	78,656,780	164,771,666
売上原価	68,067,334	62,571,658	131,179,722
売上総利益	15,588,371	16,085,121	33,591,943
販売費及び 一般管理費	15,101,116	14,779,294	29,226,924
営業利益	487,254	1,305,827	4,365,018
営業外収益	334,540	187,829	612,881
営業外費用	610,943	471,897	1,300,080
経常利益	210,851	1,021,759	3,677,819
特別利益	245,313	501,272	1,566,443
特別損失	1,118,548	1,155,716	2,999,790
税金等調整前 中間(当期)純利益	△662,383	367,315	2,244,472
法人税、住民税 及び事業税	864,434	1,331,956	3,791,218
法人税等調整額	△287,467	2,342,053	2,104,659
法人税等合計	576,967	3,674,009	5,895,877
少数株主損失	172,586	475,656	511,646
中間(当期)純利益	△1,066,763	△2,831,037	△3,139,759

中間連結キャッシュ・フロー計算書

【ご参考】

(単位：千円)

科 目	当中間連結会計期間 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	前中間連結会計期間 2007年4月1日から 2007年9月30日まで	前連結会計年度 2007年4月1日から 2008年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,534,688	△3,426,118	760,788
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,007,352	△8,177,468	△12,533,161
財務活動による キャッシュ・フロー	4,310,988	3,202,384	5,091,545
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	15,365,601	13,766,416	14,821,707

■「四半期業績報告」に関する適用初年度の対応について

- 1.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しております。従いまして、当四半期連結財務諸表と前年四半期財務諸表とは、作成基準が異なるため前年比較に関する参考として記載しております。
- 2.本書の財務数値のうち、損益計算書およびキャッシュ・フロー計算書につきましては、期初からの累計値を用いています。

会社概要／株式の状況 (2008年9月30日現在)

会社概要

会社名	トランスコスモス株式会社
(商号)	トランス・コスモス株式会社 (transcosmos inc.)
所在地	東京都渋谷区渋谷三丁目25番18号 〒150-8530
電話番号	03-4363-1111 (大代表)
FAX番号	03-4363-0111
設立年月日	1985年6月18日(登記上 1978年11月30日)
資本金	290億6,596万円
従業員数	本体：9,136名 グループ：13,379名
主要取引銀行	三井住友銀行、みずほコーポレート銀行、三菱東京UFJ銀行

株式の状況

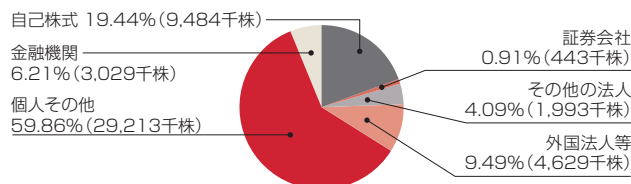
発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	48,794,046株
株主数	22,265名

大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
奥田 耕己	7,498	19.08
奥田 昌孝	5,910	15.04
平井 美穂子	2,185	5.56
財団法人奥田育英会	1,753	4.46
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505012	1,194	3.04
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口4G)	792	2.02
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口4)	731	1.86
メロン バンク エービーエヌ アムロ グローバル カストディ エヌ ブイ	625	1.59
ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) アカウント ノン トリーティー	616	1.57
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ ユーエス タックス エグゼンブテド ペンション ファンズ	506	1.29

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 出資比率は、小数第二位を四捨五入により表示しております。
3. 出資比率は、自己株式(9,484千株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



(注) 1. 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 比率は、小数第二位を四捨五入により表示しております。

役員構成

代表取締役グループCEO ファウンダー	奥田 耕己
代表取締役会長兼CEO	船津 康次
取締役副会長	後藤 攻
代表取締役社長兼COO	奥田 昌孝
取締役副社長	石見 浩一 高嶋 正二郎
専務取締役	森山 雅勝 永倉 辰一 向井 宏之
社外取締役	吉岡 大樹 高尾 吉郎 神山 陽子 夏野 剛
常勤監査役	石岡 英明
監査役	日色 輝幸 渡邊 和志 中村 敏明
上席常務執行役員	下總 邦雄 牟田 正明 貝塚 洋 多田 真之 藤元 伸彦 河野 洋一
常務執行役員	高野 雅年 森田 祐行 山喜 和彦 井上 博文 早見 泰弘 岡本 浩司 清水 一洋 沖野 公秀 梅村 和広
執行役員	内村 弘幸 高富 伸哉 吉田 啓介 松原 健志 三島 貞二 野々村 正仁 千葉 勝 日高 俊児 植松 芳宏 久保 雄一朗 小島 豊 荻野 正人 古原 広行 本田 仁志

トランスコスモスは、地域貢献、人材育成支援、学術・教育の復興、などの活動を通じて、健全な社会発展のため、積極的に社会貢献活動を行っています。

地域社会への貢献活動

雇用創出をはじめとして、経済の発展の一端を担う地方都市での事業展開を促進し、地方活性化に取り組んでいます。コールセンターなど雇用創出が見込める事業では、3年前(2005年3月)までは地方での展開が4割程度でしたが、2008年3月には7割まで増やしています。



2008年7月、沖縄のコールセンター事業グループ企業が「沖縄県産業・雇用拡大県民運動推進功労者表彰(グッジョブ表彰)」を受賞。



2008年7月、熊本県熊本市にビジネスプロセスアウトソーシングセンター「BPO熊本テクノカルセンター」を新設。

人材育成支援、学術・教育の復興

人口減少・高齢化時代を迎える日本社会において、活力ある社会・経済を維持するためには、一人ひとりの能力や可能性が最大限に発揮されることが重要だと考えています。トランスコスモスは、自社のサービスや経験を最大限に活かし、積極的に個人や組織の人材育成支援を行っています。



2008年4月～11月、多摩大学EXプロジェクトゼミにて「知的プロフェッショナルゼミナール」を実施。社会で活躍する人材を育成するための実践的基礎能力講座を開講。



2008年9月、「女性活躍推進プロジェクト」育児支援イベント「ワーキングマザーイベントセミナー」を開催。社内のマイノリティである女性が十二分に活躍できる企業文化、風土をつくることを目的に発足したプロジェクト。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 (中間配当金 毎年9月30日) そのほか必要があるときは、あらかじめ公示して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日綱町1番10号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417 (その他のご照会) ☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国本支店
公告の方法	電子公告の方法により行います。 ※ただし、電子公告による公告をすることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。 公告URL: http://www.trans-cosmos.co.jp

なお、単元未満株式の買取請求および買増請求につきましては、上記の住友信託銀行株式会社本支店又はお取引の証券会社本支店においてお取扱いしております。

【株券電子化後の株式に関するお届出先およびご照会先について】

2009年1月5日に株券電子化となります。その後のご住所変更等のお届出およびご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。
株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたします。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株券電子化前後の単元未満株式の買取・買増請求のお取扱いについて】

<買取請求>特別口座の株主様につきましては、株券電子化の施行日(2009年1月5日)から2009年1月25日まで、受付を停止いたします。また、2008年12月25日から30日までに請求をいただいた場合は、代金のお支払は2009年1月26日以降となります。
<買増請求>2008年12月12日から2009年1月4日まで、受付を停止いたします。また、特別口座の株主様につきましては、株券電子化の施行日(2009年1月5日)から2009年1月25日まで、受付を停止いたします。
※単元未満株式について「ほぶり」を利用されている株主様につきましては、上記取扱と異なりますので、お取引の証券会社へお問い合わせください。

ホームページのご案内

詳しい財務情報や最新のIRリリース、決算説明会資料などを紹介するIRライブラリーなど当社のIR情報をご覧ください。

<http://www.trans-cosmos.co.jp>



株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9715

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を差しさせていただきます。



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com